

平成23年度 第1回学校関係者評価報告書

鳥取県立米子高等学校
 学校長 平野 公二

評価日		平成23年6月14日(火)	
委員	氏名	資格・所属等	委員長
	伊藤ひろえ	同窓会副会長、米子市議会議員	○
	岩永 誠一	P T A会長	
	加藤 雄三	伯耆町立溝口中学校長	
	長谷川一成	自営業	
	柗 康弘	境港市議会議員	

評価・提言	学校の所見・改善策等
<p>1 重点目標に関わることについて</p> <p>(1) 基礎的な学力の保障</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数でも授業が保障され、きめ細かい指導ができている。英数の習熟度別授業も機能しているようだ。 ・自己評価表は前年までと比較し、具体目標が多くなっておりかなり改善されてきた。しかし抽象的な表現もあり、数値目標を増やせる余地がまだ残っている。 ・試験への参加科目・回数が増えることにより、生徒の授業や試験への取組が前向きになり、学習時間が増える事が予測される。取組を継続すべきだ。 <p>(2) 進路実現のための進路指導体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路指導体制の充実に向けた学校改革を断行してほしい。 ・教員の進路指導力を高めるという取組は評価できる。 ・国公立大学・短大への入学者を増やす事が目標にあるが、何人の合格者を目指すのか数値目標に挙げるべきだ。 <p>(3) 基本的な生活習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻が0のクラスに表彰状を渡すなどの取組をしてはどうか。 ・「遅刻0の日」を掲げているが、そのような日を設けなくても遅刻がなくなるよう取組を継続すべきだ。 <p>(4) 地域貢献活動の推進。国際交流活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンカーテンの設置が大きな反響を呼んでいる。今年だけの取組に終わらず、継続的な取組をお願いしたい。 <p>(5) 国際交流活動および国際理解教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修旅行を中止した後も韓国の姉妹校との交流を継続・発展させていくべきだ。 	<p>英数の習熟度別授業が十分に機能するようなクラス分けや教材を選定する。</p> <p>数値目標を増やし、試験に参加する教科を増やす取組を継続する。</p> <p>ビジョン委員会を中心に改革を実行中である。</p> <p>10人を目標に今年は取り組んでいる。</p> <p>生徒会ともタイアップして前向きに考える。</p> <p>取組を継続する。</p> <p>非常時の給水を兼ね、近くに井戸を掘っての給水を考えている。今後も活動を継続する。</p> <p>短期留学生の相互受け入れの人数を増やす方向で調整している。</p>